

第36回ブラッシュアップ研修会 結果速報

	日時	場所	テーマ
第36回	2020年1月25日 (土) 研修会14:30~18:00 懇親18:00~20:00	かながわ労働プラザ 第3会議室 JR石川町北口下車 徒歩3分	<p>1. 卒業生講演：産業技術総合研究所 尾崎浩一氏 (S53年卒業)</p> <p>演題：産総研の地域中堅・中小企業への技術支援 － 制度、現状、課題といくつかの連携事例 －</p> <p>2. 卒業生講演：MHPS副社長 藤谷康男氏 (S55年修士課程修了)</p> <p>演題：MHPS: クリーンな発電システムへのチャレンジ</p> <p>3. 先生講演：横浜国立大学 工学研究院 システムの創生部門 丸尾研 助教 古川 太一 先生</p> <p>演題：光を基盤技術とした計測とものづくり － バイオイメージングとマイクロ光造形 －</p>

研修会講演概要

研修会参加者：19名

懇親会参加者：16名

卒業生	卒業生	先生
産総研の地域中堅・中小企業への技術支援 － 制度、現状、課題といくつかの連携事例 －	MHPS: クリーンな発電システムへのチャレンジ	光を基盤技術とした計測とものづくり ～バイオイメージングとマイクロ光造形～
産総研の組織、研究活動の紹介に加え、地域中核企業、中小企業への技術支援に係る各種制度や活動状況、連携事例が説明され、従事するコーディネータとしての産総研の中小企業連携に関して日頃考えていることが紹介された。	今後も電力需要が拡大するアジア、アフリカ地域他での発電システムではCO2低減のクリーン発電の必要性が示され、その中で再生可能エネルギーである太陽光発電、風力発電、地熱発電に加えて、将来は水素を用いた発電システムが有効であることが紹介された。	生体計測においてタンパク質などの分布を可視化することは生命機能解明に有効な手段であるが、通常の電子顕微鏡では白黒であるため複数タンパク種をカラーで判別することが困難である。これに色を付けて計測する手法に関して詳細に説明がなされ、また、近赤外光を用いて生体深部をイメージングする手法についても説明がなされた。さらに、マイクロ光造形技術の基本原則の紹介もなされた。
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 イノベーション推進本部 上席イノベーションコーディネータ 尾崎 浩一 氏	MHPS副社長 藤谷 康男 氏	横浜国立大学 工学研究院 システムの創生部門 丸尾研 助教 古川 太一 先生

次回 第37回「ブラッシュアップ研修会」は新型コロナの影響で未定です。

研修会

